

## 様式第五十の二（第48条第6項関係）

### 認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表 （令和5年度）

#### 1. 認定の日付

令和4年1月31日

#### 2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社スギ薬局

#### 3. 認定事業適応計画の実施期間

2022年2月～2026年2月

#### 4. 認定事業適応計画の実施状況

##### （1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

株式会社スギ薬局は、本計画において、店舗とデジタルを融合し、顧客の病気予防・健康管理に生涯に渡って関わり、一貫したケアサイクルの中で健康管理を実現し、顧客生涯価値（ライフタイムバリュー）の最大化による企業価値の向上を推進しています。

この計画のうち、2023年度においては、ID統合管理システム、情報自動配信システム（DMP・MA）、新スギ薬局アプリのそれぞれを活用した施策を実施、また、販売期限管理システムの導入拡大を実施しました。令和5年度の売上実績は、新スギ薬局アプリにより約3,900百万円、ネットドラッグストア機能により約15百万円、経費削減効果は販売期限管理システムにより約237百万円となりました。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

2023年度においては、新スギ薬局アプリ・ID統合管理システム・情報自動配信システムを活用した販促企画促進、新スギ薬局アプリの使いやすさ向上を目的とした継続改修、ネットドラッグストアを2店舗へ拡大、販売期限管理システムを一部の売り場ではなく広域へ拡大しました。当初の見込み売上高は約27,046百万円を目標としておりましたが、スマホレジ・ネットドラッグストアについてまだ実証実験フェーズに留まっておりサービスの拡大が進んでおりません。結果として、新スギ薬局アプリの販促施策を中心に約3,915百万円の実績となりました。現状ギャップが発生している来期以降への計画達成へ向けては、構築したスギ薬局アプリや周辺システムを駆使する事、および出店ペースが加速している現状を活用した全店舗への早期水平展開を行うことにより、見込み売上の達成に関しては可能と考えております。

##### （3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

財務内容の健全性の向上指標については、令和5年度は有利子負債/CFが▲2.4倍となり、経常利益収支比率が102.8%となりました。（別紙2参照）

##### （4）実施した事業適応計画の内容

2023年度においては自己資金により、情報自動配信システム（DMP・MA）、ネットドラッグストア、新スギ薬局アプリの使いやすさ向上を目的とした継続改修を開始しました。これにより、

2023年度の売上実績は新スギ薬局アプリにより約3,900百万円、ネットドラッグストア機能により約15百万円、経費削減効果は販売期限管理システムにより約237百万円となりました。